

支援籍学習（交流及び共同学習）の実際

近年の実施校・実施者数の推移

市町村別/小中学校	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
伊奈町立小学校	1名(1校)	1名(1校)	2名(2校)	2名(2校)
伊奈町立中学校	1名(1校)	1名(1校)		
蓮田市立小学校	3名(2校)	1名(1校)	2名(2校)	1名(1校)
蓮田市立中学校		1名(1校)	1名(1校)	2名(2校)
上尾市立小学校	3名(3校)	2名(2校)	4名(3校)	4名(3校)
上尾市立中学校				
さいたま市立小学校	22名(16校)	12名(11校)	15名(14校)	13名(13校)
さいたま市立中学校	5名(5校)	4名(4校)	3名(3校)	2名(2校)
合計	35名(28校)	21名(20校)	27名(25校)	24名(23校)

実施の様子を紹介

令和4年度は、本校と地域のコロナウイルス感染症状況を見ながら、直接的な交流も行ってきました。直接的な交流が感染症対策で難しかった場合、間接的な交流（オンライン、手紙や作品交換、DVD、での自己紹介等）に切り替えての交流も進めてきました。今年度も本校と地域の感染状況を見ながらの実施となります。

令和4年度の支援籍学習の様子



自己紹介やお互いの学習を発表しあいました。修学旅行のことを思い出しながらたくさん伝えていました。『昆虫太極拳』って、「ちょっと、おもしろいぞ!」と、友だちのダンスをまねっこして楽しみました。



今年度は会って交流することができなくて残念でした。お手紙交換をしたよ！
来年度はみんなに会えるといいな～。



音楽の授業で、手を取り一緒に演奏してくれました。
みんな、「自分が手伝います。」と積極的に周りの児童も応援していました。